

第1期末 (2024年3月11日)

基準価額	10,207円
純資産総額	242億円
騰落率	2.1%
分配金	0円

ニッセイ/シュローダー 好利回りCBファンド 2023-02

(為替ヘッジあり・限定追加型)

追加型投信/内外/その他資産 (転換社債)

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2023年2月27日～2024年3月11日

第1期 (決算日 2024年3月11日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2023-02 (為替ヘッジあり・限定追加型)」は、このたび第1期の決算を行いました。

当ファンドは、「シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02 (適格機関投資家専用)」への投資を通じて、日本を含む世界のCB (転換社債) を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



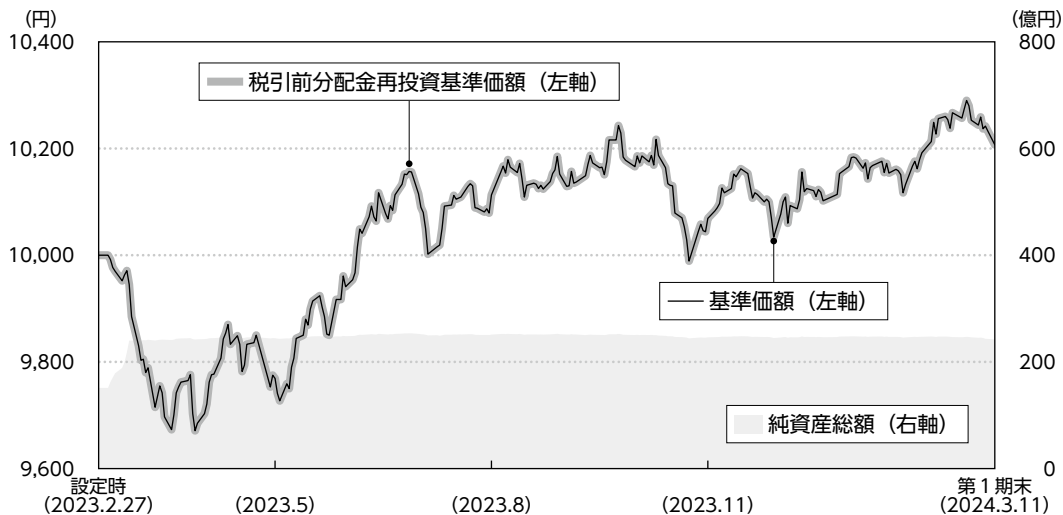
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年2月27日～2024年3月11日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	10,207円	騰落率 (分配金再投資ベース)	2.1%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2023年6月初旬から7月初旬にかけて、米債務上限問題の回避や米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを見送るとの見方が強まったことなどを背景とした世界株式市場の上昇に追随してCB市場も上昇したこと
- ・11月から当期末にかけて、米利上げ打ち止め観測の高まり、さらには早期利下げ開始への期待感を背景とした米長期金利の低下などから上昇した世界株式市場に追随してCB市場も上昇したこと

<下落要因>

- ・2023年3月初旬から中旬にかけて、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安の高まりなどから世界株式市場が下落し、CB市場も下押し圧力が生じたこと
- ・10月下旬に金融引き締め長期化や地政学リスクの高まり、一部企業の業績発表が嫌気され世界株式市場が下落し、CB市場も下押し圧力が強まったこと

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	66円	0.655%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,051円です。
（投信会社）	(29)	(0.285)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(34)	(0.342)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	66	0.657	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

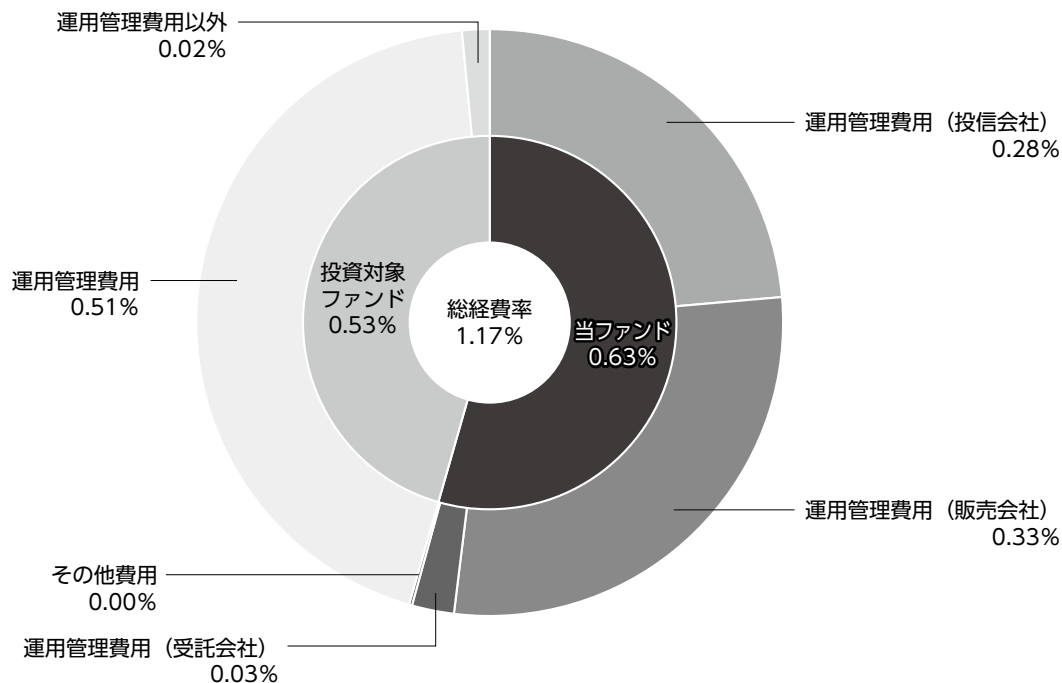
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.17%**です。



総経費率（①+②+③）	1.17%
①当ファンドの費用の比率	0.63%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

グローバルC B市況

当期のグローバルC B市場は期を通じて見ると上昇しました。

設定時より3月中旬にかけては、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関に対する信用不安の高まりなどから世界株式市場が下落し、C B市場にも下押し圧力が生じました。その後、信用不安に対する当局の迅速な対応や主要グローバル企業の良い業績動向などから世界株式市場は上昇しましたが、C B市場は追随力をやや欠いた動きとなりました。6月初旬から7月初旬にかけては、米債務上限問題の回避やFRBが利上げを見送るとの見方が強まったことなどを背景とした世界株式市場の上昇に追随してC B市場も上昇しました。8月に入ると中国の景気減速や不動産問題の深刻化、米長期金利の上昇等が嫌気されC B市場は軟調な展開となりました。9月以降は米金融引き締め長期化や地政学リスクの高まり、一部企業の業績発表等が嫌気されたことから世界株式市場は下落し、C B市場も下押し圧力が強まりました。11月から当期末にかけては、米利上げ打ち止め観測の高まり、さらには早期利下げ開始への期待感を背景とした米長期金利の低下などから世界株式市場が上昇し、C B市場も追随して上昇しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「シュローダー先進国好利回りC Bファンド2023-02（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のC Bを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■シュローダー先進国好利回りC Bファンド2023-02（適格機関投資家専用）

*シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のC Bに投資を行いました。なお、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に不動産（18.7%）、情報技術（14.9%）、一般消費財・サービス（13.1%）としています。

<国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（46.1%）、ドイツ（12.9%）、イギリス（8.1%）としています。

<通貨別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（49.5%）、ユーロ（29.8%）、イギリス・ポンド（14.2%）としています。

（注1）比率はすべて対組入債券評価額比です。

（注2）業種はG I C S（世界産業分類基準）による分類ですが、G I C S分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（B I C S レベル1）を基に分類しています。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はシュロージャー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のC Bを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2023年2月27日～2024年3月11日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	223円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「シュロージャー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■シュロージャー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）

引き続き一部のインフレ圧力は根強く、欧米における3月の利下げは見送られました。2024年に各国中央銀行が利下げを実施し再び経済に対して支援的な環境に入るという見方に変更はありません。原油価格やほとんどの原材料価格に下落が見られており、また、マネタリーベース（資金供給量）と与信量も減少傾向にあるため、米経済は後退期に入りかけている可能性があると考えています。また、ユーロ圏経済の大半もすでに縮小しており、欧州とイギリスは景気後退が間近に迫っていると見ています。一方で、中東情勢のさらなる悪化が見られた場合は原油価格の上昇が見込まれます。これはベース・シナリオではないものの、万が一、情勢が悪化した場合のインフレに対するリスクは十分に織り込まれておらず、各国中央銀行は金利を高位に保つ必要性が生じる可能性もあると考えます。

当ファンドは、原則としてファンドの信託期間内に償還日を迎えるCBに投資し、償還日まで保有することを基本としています。発行体の信用リスク、流動性などを勘案し、相対的に利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資を継続する方針です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第1期末 2024年3月11日
シュロダー先進国 好利回りC Bファンド2023-02 （適格機関投資家専用）	99.7%
ニッセイマネーマーケット マザーファンド	0.0

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

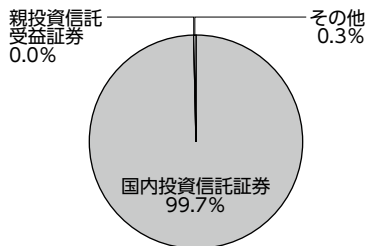
（注2）組入全ファンドを記載しています。

純資産等

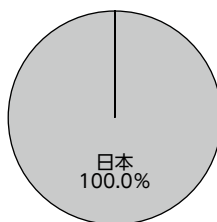
項目	第1期末 2024年3月11日
純資産総額	24,213,528,346円
受益権総口数	23,721,901,548口
1万口当たり基準価額	10,207円

（注）当期間中における追加設定元本額は9,910,011,912円、同解約元本額は1,312,748,219円です。

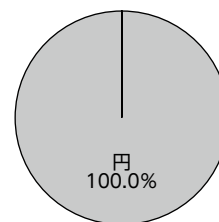
資産別配分



国別配分



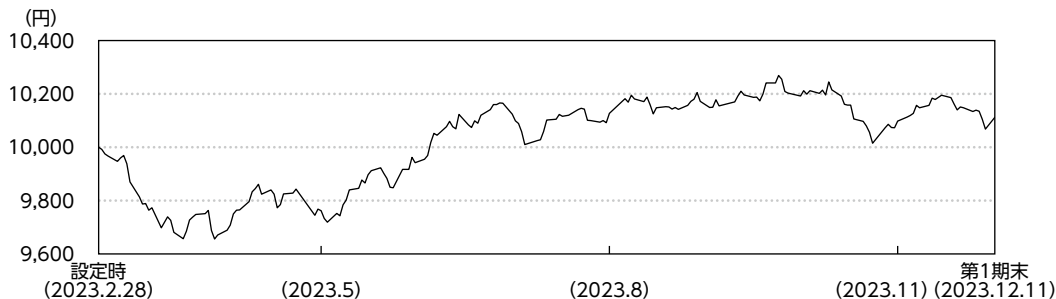
通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2024年3月11日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）の概要

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



■ 上位銘柄

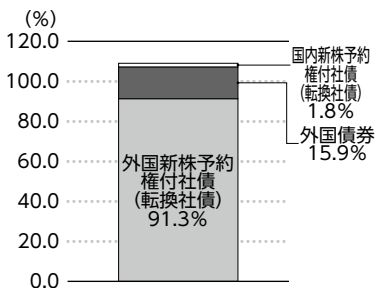
銘柄名	通貨	比率
US 2.75% 15/02/28	米ドル	15.9%
ABU DHABI OIL 0.7% CB	米ドル	6.6
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	ユーロ	5.9
CAPITAL&COUNTIES 2% CB	イギリス・ポンド	4.1
DERWENT LONDON 1.5% CB	イギリス・ポンド	3.5
IWVG GROUP HOLD 0.5% CB	イギリス・ポンド	3.5
OCADO GROUP PLC 0.75%	イギリス・ポンド	3.5
UBISOFT ENTER 0% CB	ユーロ	3.2
AMS-OSRAM AG 2.125% CB	ユーロ	3.0
AMS-OSRAM AG 0% CB	ユーロ	2.9
組入銘柄数		64

■ 1万口当たりの費用明細

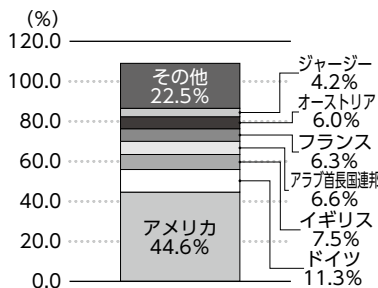
2023.2.28~2023.12.11

項目	金額
信託報酬	41円
（投信会社）	(39)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(2)
その他費用	1
（保管費用）	(1)
（監査費用）	(1)
（印刷費用）	(0)
（その他）	(0)
合計	42

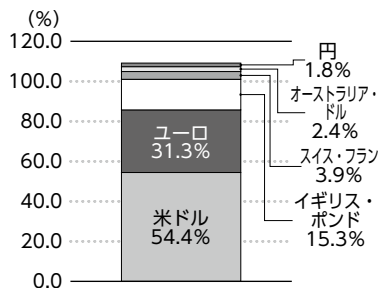
■ 資産別配分



■ 国別配分



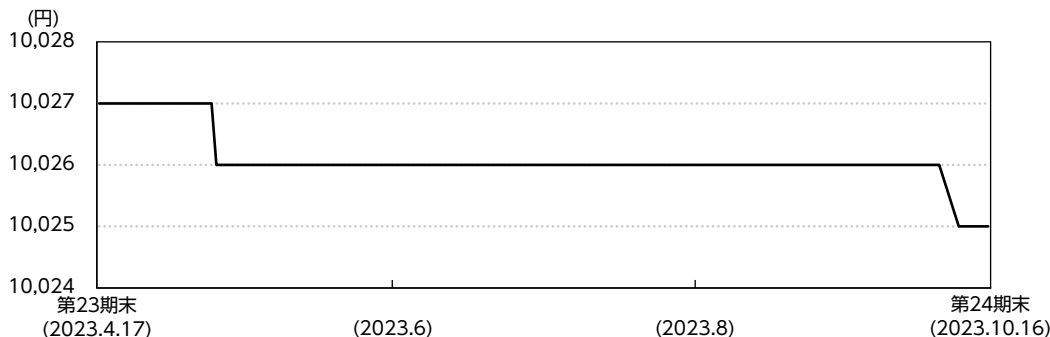
■ 通貨別配分



- (注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。
 (注2) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものであります。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。
 (注3) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、投資信託証券決算日（2023年12月11日現在）のものであり、比率は投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しています。
 (注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

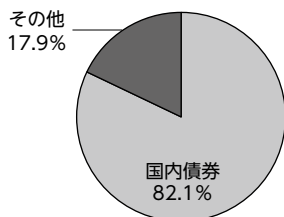
銘柄名	通貨	比率
第132回 共同発行市場公募地方債	円	21.6%
平成26年度第4回 京都府公募公債	円	13.9
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	13.9
平成25年度第11回 埼玉県公募公債	円	12.0
第727回 東京都公募公債	円	11.0
令和元年度第1回 長崎県公募公債	円	7.8
第1121回 国庫短期証券	円	1.9
組入銘柄数		7

■ 1万口当たりの費用明細

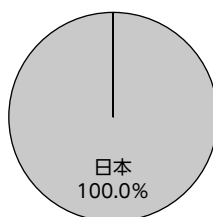
2023.4.18～2023.10.16

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

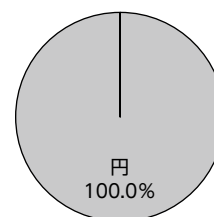
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2023年10月16日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュロージャー先進国 好利回りC B ファンド2023-02 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2023年 2月27日	10,000	—	—	10,000	—	—	15,124
1期(2024年 3月11日)	10,207	0	2.1	10,207	99.7	0.0	24,213

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュロージャー先進国 好利回りC B ファンド2023-02 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率
(設定日)2023年 2月27日	10,000	—	—	—
2月末	10,000	0.0	98.5	0.0
3月末	9,762	△2.4	98.2	0.0
4月末	9,833	△1.7	98.2	0.0
5月末	9,885	△1.2	98.3	0.0
6月末	10,113	1.1	98.5	0.0
7月末	10,129	1.3	99.0	0.0
8月末	10,131	1.3	98.5	0.0
9月末	10,216	2.2	98.5	0.0
10月末	10,053	0.5	98.6	0.0
11月末	10,117	1.2	99.7	0.0
12月末	10,102	1.0	99.9	0.0
2024年 1月末	10,151	1.5	100.0	0.0
2月末	10,280	2.8	99.9	0.0
(期末) 2024年 3月11日	10,207	2.1	99.7	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

売買および取引の状況

2023年2月27日～2024年3月11日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
シュロダー先進国好利回りCBファンド 2023-02（適格機関投資家専用）	24,768,763	24,694,550	1,246,927	1,270,940

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	10	-	-

利害関係人との取引状況等

2023年2月27日～2024年3月11日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2024年3月11日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
シュロダー先進国好利回りCBファンド 2023-02（適格機関投資家専用）	23,521,836	24,131,052	99.7
合計	23,521,836	24,131,052	99.7

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は1,393,124千口です。

投資信託財産の構成

2024年3月11日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
シュロダー先進国好利回りC Bファンド 2023-02（適格機関投資家専用）	千円 24,131,052	% 98.5
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	378,806	1.5
投資信託財産総額	24,509,869	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年3月11日現在)

項目	当期末
(A) 資産	24,509,869,221円
コール・ローン等	225,386,802
シュロダー先進国好利回り C Bファンド2023-02 (適格機関投資家専用)(評価額)	24,131,052,421
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	9,998
未収入金	153,420,000
(B) 負債	296,340,875
未払解約金	212,096,076
未払信託報酬	83,945,472
その他未払費用	299,327
(C) 純資産総額(A-B)	24,213,528,346
元本	23,721,901,548
次期繰越損益金	491,626,798
(D) 受益権総口数	23,721,901,548口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,207円

(注) 設定元本額 15,124,637,855円
 期中追加設定元本額 9,910,011,912円
 期中一部解約元本額 1,312,748,219円

損益の状況

当期（2023年2月27日～2024年3月11日）

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 164,280円
受取利息	19,360
支払利息	△ 183,640
(B) 有価証券売買損益	691,682,654
売買益	708,370,114
売買損	△ 16,687,460
(C) 信託報酬等	△ 161,192,406
(D) 当期損益金(A+B+C)	530,325,968
(E) 追加信託差損益金*	△ 38,699,170
(配当等相当額)	(△ 769)
(売買損益相当額)	(△ 38,698,401)
(F) 合計(D+E)	491,626,798
次期繰越損益金(F)	491,626,798
追加信託差損益金	△ 38,699,170
(配当等相当額)	(△ 769)
(売買損益相当額)	(△ 38,698,401)
分配準備積立金	530,490,248
繰越欠損金	△ 164,280

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	530,490,248円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	530,490,248円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	223.63円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信 託 期 間	2023年2月27日～2028年3月10日	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のC B（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／シュロージャー好利回りC Bファンド2023-02（為替ヘッジあり・限定追加型）	「シュロージャー先進国好利回りC Bファンド2023-02（適格機関投資家専用）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	シュロージャー先進国好利回りC Bファンド2023-02（適格機関投資家専用）	日本を含む世界のC B（転換社債）
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。	

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）
信託期間	2023年2月28日から2028年3月9日まで
運用方針	信託財産の成長とインカム収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	先進国（IMF（国際通貨基金）が定義する先進国・地域の全部または一部、その他運用委託先がこれに準ずると判断する国・地域）の転換社債を主な投資対象とします。先進国国債や残存期間の短い債券ならびに短期金融商品等に投資する場合があります。
組入制限	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時（毎年12月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、信託財産の成長を優先させ、収益分配を行わない場合があります。

シュローダー先進国好利回り CBファンド2023-02 (適格機関投資家専用)

第1期 運用報告書(全体版)

(決算日 2023年12月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、「シュローダー先進国好利回りCBファンド2023-02（適格機関投資家専用）」は、2023年12月11日に第1期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	債券 先物比	純資産額
		税込み 分配金	騰落率				
(設定日) 2023年2月28日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 14,897
1期(2023年12月11日)	10,112	0	1.1	93.1	15.9	—	24,521

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	債券 先物比	純資産額
3月末	9,748	△2.5	95.0	5.3	—	—
4月末	9,825	△1.8	95.9	5.3	—	—
5月末	9,883	△1.2	98.0	5.5	—	—
6月末	10,120	1.2	97.1	9.3	—	—
7月末	10,141	1.4	95.8	9.8	—	—
8月末	10,149	1.5	97.7	12.2	—	—
9月末	10,241	2.4	96.1	13.1	—	—
10月末	10,080	0.8	96.3	13.9	—	—
11月末	10,151	1.5	96.0	16.0	—	—
(期末) 2023年12月11日	10,112	1.1	93.1	15.9	—	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額は1万円当たり。

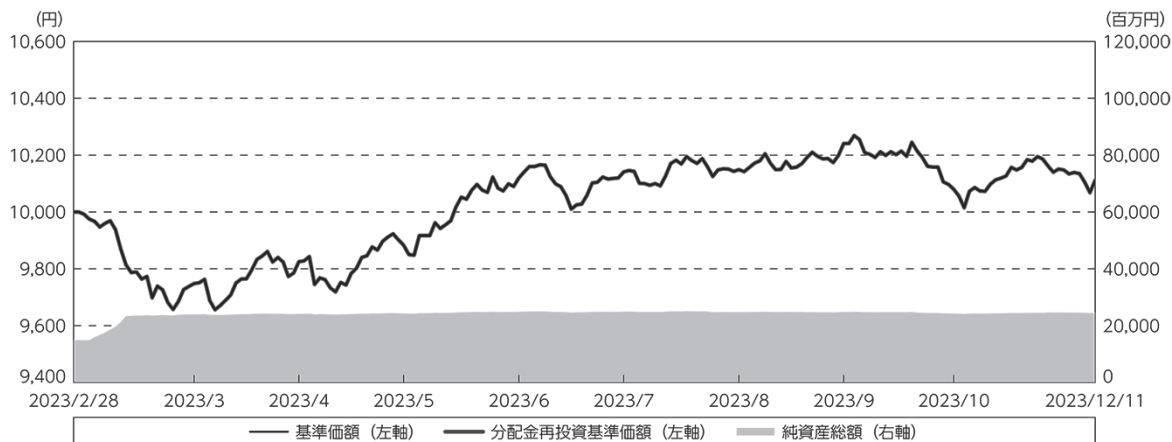
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2023年2月28日～2023年12月11日）

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：10,112円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 1.1%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

設定日10,000円でスタートした基準価額は、10,112円（分配後）で期末を迎え、設定日比1.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の下落局面において、株式市場に対する下値抵抗力を欠いた局面もありましたが、株式市場の上昇局面において、CB市場は概ね株式市場に対する追従力を発揮し、期を通しでは堅調な動きとなりました。

投資環境

2023年初頭より、グローバル株式市場はインフレ率や金利の低下が見られ、景気後退を回避するソフトランディング（軟着陸）という見方が広がり上昇となりましたが、2月には楽観的な見方が弱まり再び下落しました。その後、米国のシリコンバレー銀行の破綻やクレディ・スイスのUBSによる買収を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったものの、金融当局の迅速な対応により、金融システムへの懸念が和らぎ上昇に転じました。5月以降は人工知能（AI）の話題が大きく後押し材料となり、大手ハイテク株を中心に上昇基調となりました。8月以降、米国経済のソフトランディングと金利が低下するとのシナリオに対する疑問が再び高まり、米国やその他のグローバルの株式市場は下落基調となり、10月にはイスラエル、パレスチナ情勢の悪化を背景に継続して下落しましたが、11月には米英の中央銀行が政策金利の据え置きを発表し、利上げ終了観測が高まったことなどを背景に上昇しました。また、良好な経済指標、原油価格の下落、インフレ率の大幅な低下、米国国債利回りの低下、米ドルの下落などを背景に堅調な推移となり、期を通しては上昇となりました。同期間におけるCB市場は、資本財・サービス、公益セクターが軟調となった一方、一般消費財・サービス、インフォメーションテクノロジー、不動産セクターが堅調な動きとなり、上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略としつつ、CB市場の非効率性を捉え、割安な銘柄に対する投資を実施しました。セクター別では、不動産セクターの組入比率を最も高位としています。国別では、米国を最も高位とし、続いて英国、ドイツを高位としています。また、格付け別ではBB格、BBB格のCBを中心に保有しています。

（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

2023年11月30日現在

国別組入比率

	国名	比率*
1	USA	39.9%
2	UNITED KINGDOM	10.6%
3	GERMANY	9.3%
4	UNITED ARAB EMIRATES	5.9%
5	FRANCE	5.7%
6	AUSTRIA	5.4%
7	SWITZERLAND	3.5%
8	LUXEMBOURG	3.2%
9	IRELAND	3.0%
10	KOREA	2.7%
	Others	10.7%
	合計	100.0%

*キャッシュ等除く

業種別組入比率

	セクター名**	比率*
1	Real Estate	18.5%
2	Information Technology	16.8%
3	Consumer Discretionary	12.9%
4	Financials	11.6%
5	Communication Services	8.9%
6	Industrials	6.7%
7	Consumer Staples	6.0%
8	Health Care	2.2%
9	Materials	0.8%
10	Utilities	0.8%
11	Energy	0.5%
	Others	14.3%
	合計	100.0%

*キャッシュ等除く

**業種は組入資産のGICS (世界産業分類基準)に基づいて記載。Othersの中に米国国債が含まれています。

格付別組入比率

格付	比率*
AAA	0.0%
AA	23.3%
A	5.9%
BBB	26.7%
BB	30.8%
B	13.3%
CCC以下	0.0%
格付けなし	0.0%
合計	100.0%

*キャッシュ等除く

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 1 期
	2023年2月28日～ 2023年12月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	142

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

米国のコア生産者物価指数（C P P I）は4%まで低下しており、世界規模でインフレはさらに低下すると予想されます。利上げサイクルの終わりに近づいている今、このサイクルを歴史的文脈に置くことが重要であると考えています。2022年は1980年代初頭以来の急ピッチな金利上昇を経験しました。そして多くのアナリストが驚いたことに、経済は好調となり、労働市場は回復力を維持し、米国の消費者は支出を続けました。しかしながら、2023年現在米国ではクレジット・カード等の延滞率の上昇等、景気が減速する兆候が見られています。米連邦準備制度理事会（FRB）のジェローム・パウエル議長が2022年のジャクソンホールで、インフレとの戦いは「家計と企業にある程度の痛みをもたらすだろう」と述べましたが、その痛みはついに経済にも現れ始めています。失業者数は遅行指標ですが、失業率3.4%から4%への上昇は、米国が景気後退入りしつつあることを示す初期の兆候です。FRBのバランスシートは毎月950億米ドル削減され続け、流動性は市場から流出し続けています。

グローバル金融危機以降、CB市場はほぼ同じ時価総額を維持した一方で、ハイイールド債券市場は5倍に拡大しました。今後、多くの借換えが控えていますが、その借換えはさらに高い金利水準で行われ、信用条件もかなり厳しくなっています。債券投資において最も危険な日は満期日です。発行体は負債を返済するための流動性がない場合には、借り換えを行うでしょう。その借り換え条件が厳しい場合、そして金利コストが以前よりかなり高い場合、銀行融資基準が厳しくなっている場合、デフォルト率が上昇している場合、および流動性が低下している場合、デフォルトのリスクは大幅に上昇します。そして、その状況は現在、あるいは少なくとも近い将来にあると考えます。

このような中において、CBは流動性のない局面においても常に開かれた市場であり、今後CBにとって好機が到来すると予想されます。一方で、CBは景気後退局面における株式下落に対する防御性を示すことが要求されます。運用チームは長期的な株式市場見通しに関しては、引き続き警戒しており、今後さらにボラティリティ（変動性）が高まるとみています。この様な中、全天候型商品といえるCBにはより防御的な資産クラスとしての投資妙味があり、依然売られ過ぎの状況にあると考えます。大手IT企業による社債の発行は継続しており、特に長期債の取引が活発となっていますが、これらの企業においてCBの発行は行われておらずCBのユニバースに影響を及ぼす可能性は軽微といえます。今後もグローバルの経済動向を見極めつつ、保有銘柄の信用リスク状況を注視したポートフォリオ運営を継続します。

○1万口当たりの費用明細

（2023年2月28日～2023年12月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	41	0.411	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(39)	(0.389)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.001)	
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.021)	
(b) そ の 他 費 用	1	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.005)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.008)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(0)	(0.001)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	42	0.425	
期中の平均基準価額は、10,033円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月28日～2023年12月11日)

新株予約権付社債 (転換社債)

		買 付		売 付	
		額	金 額	額	金 額
国内		千円	千円	千円	千円
		480,000	406,750	—	—
外 国	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		84,600	73,793	5,500 (6,200)	4,950 (6,200)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	22,000	17,961	1,900	1,748
	イタリア	5,000	3,635	1,000	762
	フランス	10,766	9,744	309	264
	オランダ	4,100	3,791	—	—
	ベルギー	1,500	1,350	—	—
	オーストリア	13,600	10,370	2,500	1,980
	アイルランド	2,000	1,780	—	—
	その他	6,300	5,109	1,300	1,066
	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド
		24,500	19,987	800	571
	スイス	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン
	7,200	6,589	1,200	1,090	
オーストラリア	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	
	6,100	5,904	—	—	

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 26,696	千米ドル —

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月28日～2023年12月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年12月11日現在）

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
MERCARI INC 0% 26/07/14		千円 300,000	千円 263,700
PARK24 0% 25/10/29		180,000	170,785
合 計	額 面 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	480,000 2	434,485 <1.8%>

（注）評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注）単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	柄	当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
TELADOC HEALTH INC 1.25%		1,000	816	118,690
CHEGG INC CONV 0% CB		1,500	1,218	177,206
SEA LTD 0.25% CB		2,000	1,618	235,257
RINGCENTRAL INC 0% CB		3,000	2,535	368,589
SOFI TECHNOLOGIES 0% CB		2,250	1,795	261,065
ALARM.COM HLD 0% CB		750	656	95,473
SUNRUN INC 0% CB		1,000	732	106,492
SPOTIFY USA INC 0% CB		1,750	1,536	223,407
AIRBNB INC 0% CB		2,250	2,015	292,995
CABLE ONE INC 0% CB		3,000	2,499	363,354
JETBLUE AIRWAYS 0.5% CB		2,000	1,401	203,718
BLACKSTONE MTG 5.5% CB		2,000	1,753	254,995
SNAP INC 0% CB		3,000	2,328	338,622
TRIPADVISOR 0.25% CB		1,000	866	126,047
ABU DHABI OIL 0.7% CB		11,400	11,123	1,617,345
DIGITALOCEAN 0% CB		2,000	1,592	231,564
TECHTARGET INC 0% CB		1,000	812	118,075
FASTLY INC 0% CB		1,000	867	126,061
NEW MOUNTAIN FIN 7.5%CB		2,900	2,950	429,039
PENNYMAC 5.5% CB		1,500	1,374	199,845
PERFICIENT 0.125% CB		1,000	822	119,591

シュロダー先進国好利回りCBファンド2023-02 (適格機関投資家専用)

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
SPIRIT AIRLINES 1.0% CB	1,500	975	141,895
NCL CORP 2.5% CB	2,000	1,817	264,191
BILL HOLDINGS 0% CB	1,500	1,203	174,916
CONFLUENT 0% CB	750	615	89,486
WESTERN DIGITAL 1.5% CB	4,000	3,990	580,262
BW OFFSHORE 2.5% CB	1,000	949	137,999
PROSPECT CAP 6.375% CB	2,500	2,509	364,873
KAMAN CORPO 3.25% CB	2,500	2,437	354,412
SHOPIFY INC 0.125% CB	1,600	1,486	216,122
JP MORGAN CHASE 0% CB	3,500	3,485	506,737
XERO INVESTMENTS 0% CB	1,500	1,337	194,498
REPAY HOLDINGS 0% CB	2,000	1,673	243,370
PEGASYSTEMS INC 0.75% CB	1,250	1,160	168,664
小計	額 面 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	72,900 34	64,957 — <38.5%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
LEG IMMOBILIEN 0.875%CB	3,400	3,251	509,183
HELLOFRESH SE 0.75% CB	2,000	1,884	295,139
DELIVERY HERO 1.5% CB	2,000	1,521	238,180
ZALANDO SE 0.625% CB	2,000	1,693	265,230
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	10,700	9,272	1,451,911
小計	額 面 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	20,100 5	17,624 — <11.3%>
(ユーロ・・・イタリア)	千ユーロ	千ユーロ	千円
NEXI SPA CONV 0% CB	4,000	3,456	541,172
小計	額 面 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	4,000 1	3,456 — <2.2%>
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
UBISOFT 2.375% CB	1,500	1,495	234,219
NEOEN SA 2.875% CB	1,500	1,363	213,542
Nexity SA 0.25% CB	689	612	95,905
WORLDLINE FRANCE 0% CB	1,609	1,392	218,000
UBISOFT ENTER 0% CB	5,158	4,985	780,641
小計	額 面 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	10,457 5	9,849 — <6.3%>

シュローダー先進国好利回りC Bファンド2023-02 (適格機関投資家専用)

銘柄	銘柄	当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
SHOP APOTHEKE EUR 0% CB		1,000	915	143,314
小 計	額 面 ・ 金 額	1,000	915	143,314
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.6%>
(ユーロ・・・ベルギー)		千ユーロ	千ユーロ	千円
UMICORE SA CONV 0% CB		1,500	1,407	220,419
小 計	額 面 ・ 金 額	1,500	1,407	220,419
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.9%>
(ユーロ・・・オーストリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
AMS-OSRAM AG 2.125% CB		6,100	4,742	742,619
AMS-OSRAM AG 0% CB		5,000	4,605	721,198
小 計	額 面 ・ 金 額	11,100	9,348	1,463,818
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<6.0%>
(ユーロ・・・アイルランド)		千ユーロ	千ユーロ	千円
GLANBIA CO 1.875% CB		2,000	2,070	324,120
小 計	額 面 ・ 金 額	2,000	2,070	324,120
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<1.3%>
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円
GN STORE NORD 0% CB		1,300	1,270	198,933
DELIVERY HERO 1.0% CB		3,700	3,149	493,175
小 計	額 面 ・ 金 額	5,000	4,420	692,108
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<2.8%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	55,157	49,092	7,686,906
	銘 柄 数 < 比 率 >	18	—	<31.3%>
(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド	千円
CAPITAL&COUNTIES 2% CB		6,000	5,445	993,743
PHP FINANCE 2.875% CB		1,000	965	176,128
DERWENT LONDON 1.5% CB		5,000	4,705	858,786
OCADO GROUP PLC 0.75%		6,200	4,684	854,889
IWG GROUP HOLD 0.5% CB		5,500	4,700	857,866
小 計	額 面 ・ 金 額	23,700	20,502	3,741,414
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	<15.3%>
(スイス)		千スイスフラン	千スイスフラン	千円
DUFREY ONE 0.75% CB		3,000	2,802	463,422
SWISS PRIME 0.325% CB		2,000	1,970	325,841

シュローダー先進国好利回りC Bファンド2023-02（適格機関投資家専用）

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(スイス)	千スイスフラン	千スイスフラン	千円	
CEMBRA MONEY BANK 0% CB	1,000	941	155,688	
小 計	額 面 ・ 金 額	6,000	5,714	944,952
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	—	<3.9%>
(オーストラリア)	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
DEXUS Finance 2.3% CB	6,100	6,041	577,472	
小 計	額 面 ・ 金 額	6,100	6,041	577,472
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<2.4%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	22,395,612
	銘 柄 数 < 比 率 >	61	—	<91.3%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期 末						
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	28,500	26,783	3,894,375	15.9	—	—	15.9	—
合 計	28,500	26,783	3,894,375	15.9	—	—	15.9	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当		期		末	償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券 US 2.75% 15/02/28	2.75	28,500	26,783	3,894,375		2028/2/15
小 計				3,894,375		
合 計				3,894,375		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年12月11日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
新株予約権付社債(転換社債)	22,830,098	81.7	
公社債	3,894,375	13.9	
コール・ローン等、その他	1,222,417	4.4	
投資信託財産総額	27,946,890	100.0	

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(26,912,238千円)の投資信託財産総額(27,946,890千円)に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.40円、1ユーロ=156.58円、1英ポンド=182.49円、1スイスフラン=165.36円、1オーストラリアドル=95.59円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	63,541,812,155	
コール・ローン等	868,936,754	
公社債(評価額)	26,724,473,894	
未収入金	32,158,478,369	
未収利息	93,662,304	
前払費用	5,369,074	
差入委託証拠金	3,690,891,760	
(B) 負債	39,020,115,129	
未払金	35,291,544,038	
未払信託報酬	36,959,841	
未払利息	1,022	
差入委託証拠金代用有価証券	3,690,891,760	
その他未払費用	718,468	
(C) 純資産総額(A-B)	24,521,697,026	
元本	24,250,019,049	
次期繰越損益金	271,677,977	
(D) 受益権総口数	24,250,019,049口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,112円	

[元本増減]

設定元本額	14,897,770,000円
期中追加設定元本額	9,870,993,878円
期中一部解約元本額	518,744,829円
(注) 2023年12月11日現在、先物取引などに係る差入委託証拠金代用有価証券として担保に供している資産は以下の通りです。	
・ 国債証券	3,468,645,081円

(注) 当ファンドの運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに有価証券等の運用の指図に関する権限を委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○損益の状況 (2023年2月28日～2023年12月11日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	280,190,978	
受取利息	280,444,073	
その他収益金	108,862	
支払利息	△ 361,957	
(B) 有価証券売買損益	166,267,707	
売買益	3,638,829,446	
売買損	△3,472,561,739	
(C) 信託報酬等	△ 102,206,644	
(D) 当期損益金(A+B+C)	344,252,041	
(E) 追加信託差損益金	△ 72,574,064	
(配当等相当額)	(1,730,210)	
(売買損益相当額)	(△ 74,304,274)	
(F) 計(D+E)	271,677,977	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	271,677,977	
追加信託差損益金	△ 72,574,064	
(配当等相当額)	(1,730,210)	
(売買損益相当額)	(△ 74,304,274)	
分配準備積立金	344,252,041	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(216,046,088円)、費用控除後の有価証券等損益額(128,205,953円)、および信託約款に規定する収益調整金(1,730,210円)より分配対象収益は345,982,251円(10,000口当たり142円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 24 期

(計算期間：2023年4月18日～2023年10月16日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



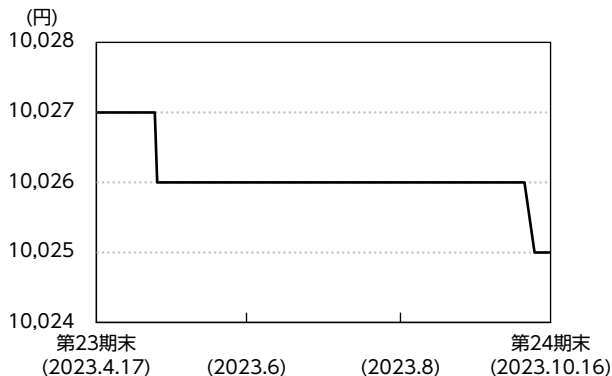
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年4月18日～2023年10月16日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、関連条項に所要の変更を行いました。

(2023年7月26日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
20期 (2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期 (2022年4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50
22期 (2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50
23期 (2023年4月17日)	10,027	△0.0	89.9	706
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1	720

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2023年4月17日	10,027	—	89.9
4月末	10,027	0.0	89.3
5月末	10,026	△0.0	66.3
6月末	10,026	△0.0	63.0
7月末	10,026	△0.0	72.3
8月末	10,026	△0.0	81.1
9月末	10,026	△0.0	81.2
(期末)2023年10月16日	10,025	△0.0	82.1

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年4月18日～2023年10月16日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,026円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年4月18日～2023年10月16日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	322,340	— (165,000)
	特殊債券	—	— (200,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年4月18日～2023年10月16日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
		千円	
平成26年度第4回 京都府公募公債	100,628	—	—
平成25年度第11回 埼玉県公募公債	86,450		
第727回 東京都公募公債	79,257		
令和元年度第1回 長崎県公募公債	56,004		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

組入有価証券明細表

2023年10月16日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	14,000 (14,000)	14,001 (14,001)	1.9 (1.9)	—	—	—	—	1.9 (1.9)
地方債証券	476,000 (476,000)	477,237 (477,237)	66.3 (66.3)	—	—	—	—	66.3 (66.3)
特殊債券 (除く金融債券)	100,000 (100,000)	100,030 (100,030)	13.9 (13.9)	—	—	—	—	13.9 (13.9)
合計	590,000 (590,000)	591,269 (591,269)	82.1 (82.1)	—	—	—	—	82.1 (82.1)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第1121回 国庫短期証券	—	2023/11/20	14,000	14,001
	小計	—	—	—	14,001
地方債証券	第727回 東京都公募公債	0.7200	2023/12/20	79,000	79,100
	平成26年度第4回 京都府公募公債	0.6640	2024/ 6 /20	100,000	100,454
	平成25年度第11回 埼玉県公募公債	0.6550	2024/ 3 /26	86,000	86,244
	第132回 共同発行市場公募地方債	0.6600	2024/ 3 /25	155,000	155,435
	令和元年度第1回 長崎県公募公債	0.0100	2024/ 6 /26	56,000	56,003
	小計	—	—	—	477,237
特殊債券 (除く金融債券)	第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.6990	2023/10/31	100,000	100,030
	小計	—	—	—	100,030
	合計	—	—	—	591,269

投資信託財産の構成

2023年10月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円	%
	591,269	82.0
コール・ローン等、その他	130,227	18.0
投資信託財産総額	721,496	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月16日現在)

項目	当期末
(A)資産	721,496,958円
コ ー ル ・ ロ ー ン 債 (評価額)	129,585,003
公 社 債 (評価額)	591,269,516
未 収 利 息	590,905
前 払 費 用	51,534
(B)負債	1,163,467
未 払 解 約 債 金	1,163,365
そ の 他 未 払 費 用	102
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	720,333,491
元 本	718,501,875
次 期 繰 越 損 益 金	1,831,616
(D)受 益 権 総 口 数	718,501,875口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,025円

(注1) 期首元本額	704,956,153円
期中追加設定元本額	104,036,090円
期中一部解約元本額	90,490,368円
(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるペビーファンド別内訳は、次の通りです。	
ニッセイグローバル好配当株式プラス (毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド (適格機関投資家限定)	49,952,497円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド (毎月決算型・通貨プレミアムコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド (毎月決算型・為替ヘッジありコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド (毎月決算型・為替ヘッジなしコース)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン (毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (資産成長型)	9,968円
D C ニッセイターゲットデットファンド 2 0 2 5	668,110,536円
ニッセイ/コムジスト新興国成長株ファンド (資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジスト新興国成長株ファンド (年2回決算型)	9,969円
ニッセイ A I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ A I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド (3 カ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド (3 カ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (予想配分金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (予想配分金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (資産成長型)	9,972円
既定追加型・横上償還多額付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド (為替ヘッジあり)	9,973円
既定追加型・横上償還多額付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド (為替ヘッジなし)	9,973円
ニッセイ/シュロダー・好利回りCBファンド 2023-02 (為替ヘッジあり・既定追加型)	9,974円
既定追加型・横上償還多額付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド 2023-07 (為替ヘッジあり)	9,975円
既定追加型・横上償還多額付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド 2023-07 (為替ヘッジなし)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (毎月決算型)	9,975円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2023年4月18日~2023年10月16日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	1,734,560円
受 取 利 息	1,788,938
支 払 利 息	△ 54,378
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,815,052
売	△ 1,815,052
買	△ 1,815,052
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,705
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 82,197
(E)前 期 繰 越 損 益 金	1,877,347
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	271,311
(G)解 約 差 損 益 金	△ 234,845
(H)合 計 (D + E + F + G)	1,831,616
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,831,616

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。